

## 取組の概要

取組の概要 : 日本一のにらの産地の維持・発展  
 計画作成主体 : 香南市地域農業再生協議会  
 対象品目 : にら (作付面積:47.8ha、施設:41.2ha、露地:6.7ha)  
 主な取組主体 : 土佐香美農業協同組合、農業者(48戸)  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)  
 助成金の活用 : 整備事業(生産技術高度化施設)  
 状況 : 生産支援事業(出荷調製作業機械、環境制御装置等のリース導入)

## ポイント

出荷調製作業の機械化による生産性の向上、環境制御技術等の新たな栽培技術の導入、栽培施設整備による生産面積の拡大により、生産量の増加や高品質周年安定出荷が可能となることで、販売額10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 45.0ha(施設:38.4ha、露地:6.6ha)  
 販売額 : 10.7億円

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 47.8ha(施設:41.2ha、露地:6.7ha)  
 販売額 : 12.7億円

## 推進体制

地域の関係者(香南市地域農業再生協議会、高知県中央東農業振興センター、香南市、土佐香美農業協同組合、実需者)が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

○環境制御技術(炭酸ガス施用、電照栽培等)、点滴チューブ灌水などの新たな栽培技術の導入による品質・収量の向上に向けた取組。

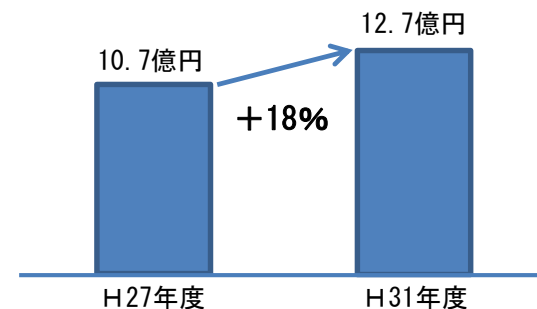
〈県・市単独事業〉

○環境制御技術普及促進事業により新たな栽培技術の導入を支援。  
 ○高知県園芸用ハウス整備事業によりハウス整備を支援。

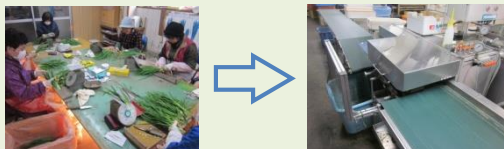
## 事業効果

- 環境制御技術(炭酸ガス施用)、点滴チューブ灌水などの新たな栽培技術の導入による品質・収量の向上。
- 出荷調製作業の機械化による労働時間の削減により、安定した出荷量を確保
- 低コスト耐候性ハウスの設置等による規模拡大により販売額・農家所得の向上を実現。

～にらの販売額～



### 出荷調製作業の機械化



### 低コスト耐候性ハウス等の整備

